

留学体験レポート

国際文化学科 2年 藤田千穂

私はロシアのウラジオストク国立経済大学に、三か月間留学してきました。諸事情により、一か月帰国が早まってしまいましたが、貴重な体験をすることができました。

大学の寮生活では自炊をすることが多く、私はよく大学の近くのスーパーで買い物をしていました。ウラジオストクは日本より物価が安く、野菜や果物などは量り売りなのでとても驚きました。また、店員さんが無表情ということにも驚き、最初は少し怖かったです。日本では、店員さんは基本的に愛想が良いですが、ロシアでは大抵真顔です。怒っているのかと戸惑いましたが、そうではなく、笑顔を見せないのが普通だそうです。慣れたら平気でしたが、日本とは真逆の接客業だなあと思いました。

留学中に、大学内や街で知らない人に声をかけられることがありました。ウラジオストクには日本人がほとんどいないようで、日本人だと分かると珍しがられることが多くありました。以前、日本のアニメが好きだという女の子に話しかけられたことがあります。日本の文化が海外に発信されていて、それを受け入れてくれている人がいることを改めて実感できて、とても嬉しかったです。

このようにロシアでは、知らない人にでも普通に話しかけてくる人はたくさんいます。日本では、知らない人に話しかけることはほとんどありませんが、ロシアではそれが普通です。人見知りせず、積極的にコミュニケーションを取る姿勢を見て、見習いたいと思いました。

ウラジオストクの街の中央にはいくつか日本料理店があり、時々そこで食事を取っていました。その中で印象に残っているのが、「とうきょうかわいい」という店です。名前のインパクトが強く、気になったので友達と一緒に訪れました。椅子にぬいぐるみが置いてあったり、壁に絵が描かれていたり、可愛らしい内装になっていました。メニューには寿司やうなぎなど、本格的なものもありました。少し値段が高く、日本の味とは若干異なっていましたが美味しかったです。

三か月間留学して、たくさんの人々に出会うことができました。自分と気の合う人もいれば、もちろん合わない人もいました。また、楽しいことばかりではなく辛いこともたくさんありました。しかし全てひっくるめて考えても、私は留学して本当に良かったと思います。日本を出て分かる、日本の良さや悪さを実感できたからです。それはロシアも同じです。

ウラジオストク国立経済大学の先生方、その他関係者の皆様には感謝しています。機会があれば、またウラジオストクに行きたいです。